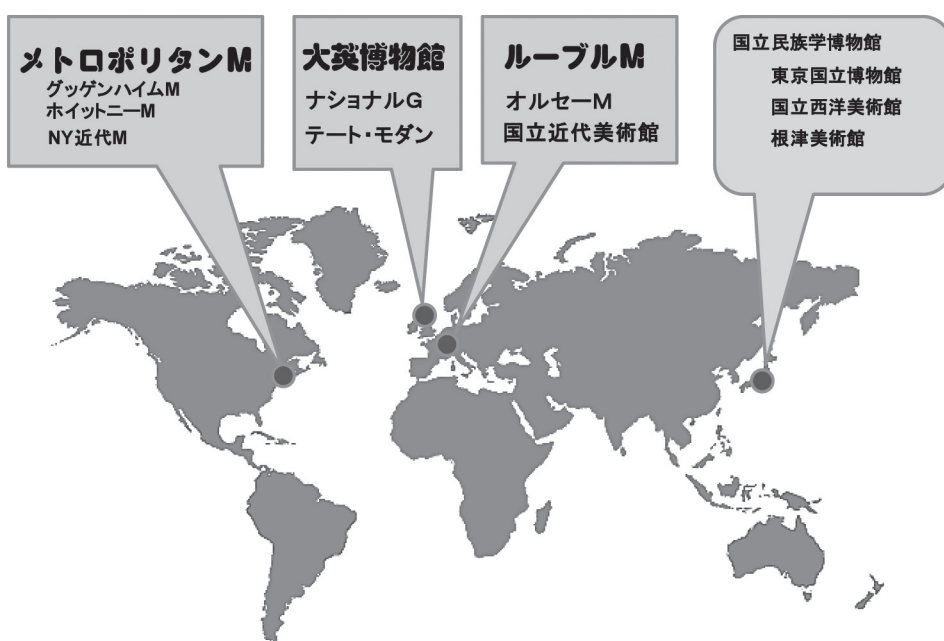


5. 美術博物館の世界

資料館、美術館、文学館、歴史館、科学館、水族館、動物園、植物園

世界四大美術館

	年間入場者数
ルーブル美術館（フランス）	860 万人
大英博物館（イギリス）	682 万人
エルミタージュ美術館（ロシア）	366 万人
メトロポリタン美術館（アメリカ）	653 万人



美術館は、どこも同じ ?? → 本来は、全く違うポリシーを持つ

日本

— 国立博物館・国立美術館

- 東京国立博物館
- 九州国立博物館
- 国立西洋美術館
- 国立科学博物館（かほく）

- 京都国立博物館
- 東京国立近代美術館
- 国立国際美術館
- 国立民族学博物館（みんぱく）

- 奈良国立博物館
- 京都国立近代美術館
- 国立新美術館



屋根裏博物館
（動植物の標本、化石）

PARIS

ルーブルM

抜きん出た規模の巨大ミュージアム



東西約1km、南北300mの壮大なルーブル宮殿に30万点ものコレクションを収蔵する世界最大級の美術館。展示品は絵画・彫刻・家具・工芸品まで幅広く、その歴史も古代から19世紀中ごろまでと膨大な長さにおよんでいる。

＜入館者数＞ 年間約1000万人。入館者の70%は、外国から。入館者の半数は、6月から9月の四ヶ月間に集中している。こうした状況からも、観光型ミュージアムとも呼ばれている。

＜規模＞ 屋根面積65000㎡、床面積45000㎡、展示室の総計198室。収蔵品の総数は約30万点。これが7部門に分けられて学術的管理が行われる。

●古代オリエント部門（8万点）、●古代エジプト部門（5万5千点）、●古代ギリシャ・ローマ部門（3万点）、●工芸美術（1万点）、●彫刻（6千点）、●デッサン（十萬点）、●絵画（1万5千点）

ルーブル美術館の作品の大部分は収蔵庫に納められている・特に考古学部門ではこの傾向が強い。絵画部門では2100点が公開されているにすぎない。

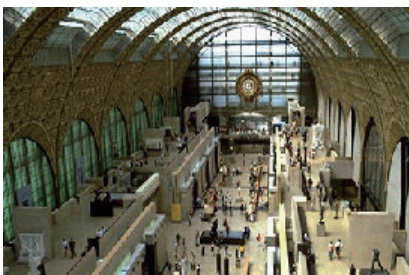
＜職員＞ 管理部門（10名）、学芸部門（100うち学芸員50名）、技術部門（95名）、監視守衛部門（400名）、これに受付・売店など120名で、総計750名。これにフランス美術館総局の機能（役100名）が加わる。

＜予算＞年間の経費は約45億円で、その三分の一は美術館自身の収入でまかなわれ、残りは国家が支出する。



オルセーM

近代美術の殿堂に生まれ変わった旧駅舎



1986年開館と、歴史は浅いものの、今やその人気はルーブルMと肩を並べるほどである。展示内容は、ルーブルが古代から19世紀半ばまでに対し、1848年～1914年までの近代美術2万点を所蔵する。特に印象派の作品が充実していることから、日本人にはとりわけ人気がある。

建物がかつては駅舎であったという点も興味深い。建築当時の内装や骨組みを残しつつ現代の最新技術を施した約10年間の大改修により、見事な美術館に生まれ変わった。地上、上階、中階の順でまわればジャンル別および年代を追ってスムーズに見学できるようになっている。

NEW YORK

メトロポリタンM

百科全書的ミュージアム



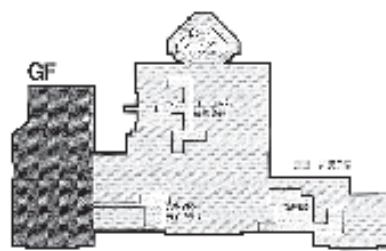
1870年「国民のための美術研究所」として構想された。（1万3千㎡）古代から現代まで6千年にわたる全世界の芸術の収蔵。

収蔵品の増大→セントラルパークへ拡大

18部門＜300万点＞

エジプト美術、ギリシャ・ローマ美術、古代オリエント美術、イスラム美術、中世美術、アメリカン・ウイング、アフリカ・オセアニア美術、アジア美術、ヨーロッパ絵画 ヨーロッパ彫刻・鼓飾美術、武器甲冑、服飾研究所、素描、楽器 版画・写共、20世紀美術、ロバート・レイマンコレクション、リンスキー・コレクション

年間入場者数600万人



日本

国立民族学博物館	美術とは、じつは何か？…ここに行けば…わかる！
	<p>年間入場者数 19 万人</p> <p>民博（みんぱく）大阪府吹田市千里万博公園</p> <p>みんぱくは、世界の民族、社会や文化などを研究対象とし、文化人類学と民族学および関連分野の基礎的かつ理論的研究をおこなってきました。文化、生活様式、芸能・音楽など 34 万点の標本資料、7 万点の映像・音響資料、65 万点の文献図書資料などを収集し毎年 1000 名を超す研究者を国内外から招聘して研究を発展させています。</p>
東京国立博物館	博物館？　ここは「日本美術館」
	<p>年間入場者数 150 万人</p> <p>本館 日本美術 縄文から近代まで、日本美術の流れをつかむ時代別展示（2 階）と陶磁、浮世絵などの分野別展示（1 階）で構成。日本の美と心をご覧ください。</p> <p>東洋館 東洋美術・考古遺物 中国、朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、西アジア、エジプトなどの美術と工芸、考古遺物を展示。東洋美術の小旅行をお楽しみください。</p> <p>平成館 日本考古遺物・寄贈品展示室 考古遺物で日本の歴史をたどる考古展示室と寄贈品の展示室。考古展示室では縄文時代の火焔土器や、弥生時代の銅鐸、古墳時代の武人埴輪など、教科書でみたあの作品にあえます。</p> <p>法隆寺宝物館 法隆寺献納宝物 奈良・法隆寺から皇室に献納された宝物 300 件あまりを収蔵・展示。正倉院宝物と双璧をなす古代美術のコレクションは必見です。</p>
国立西洋美術館	日本の画学生に本物の絵を… 松方幸次郎の夢の跡
	<p>株式会社川崎造船所社長であった故松方幸次郎氏（1865-1950）は、1916 年から 1923 年にかけて、私財を投じてパリを中心にヨーロッパ各地で数千点におよぶ西洋の絵画、彫刻、工芸品を収集しました。現在、西洋美術館に展示してある、松方コレクションとは、二次世界大戦当時フランスに残され、サンフランシスコ講和条約によって一旦フランスの国有財産となった後、日本に寄贈返還された絵画 196 点、素描 80 点、版画 26 点、彫刻 63 点、合計 370 点の作品からなるコレクションのことをさしています。</p>
根津美術館	水戸芸術館
 <p>日本の美術館の典型 （建物＋庭園＋茶室）</p>  <p>尾形光琳「カキツバタ図屏風」を所蔵する</p>	<p>祝賀行事に消えるはずだった「水戸市政 100 周年記念予算 100 億円」を使い、文化施設を作った市長</p>  <p>美術館でもコンサートホールでもない、三大芸術の総括として「芸術館」として決定された</p>

北海道 — 道立美術館



道立近代美術館

1977年7月札幌のほぼ中心部にオープン。主として明治以後の本道美術の流れから、各分野のすぐれた作品を系統的に収集・保存。また、同時に国内外の近代以後の作品、特にガラス工芸、パスキンを中心とするエコール・ド・パリの作品なども積極的に収集し、総合的な近代美術館を目指す。



道立旭川美術館

1982（昭和57）年オープン。道北地域のすぐれた美術作品および木の造形作品や彫刻を系統的に収集・保存する。道北地域の美術文化の振興のための活動を広く進めている。



道立函館美術館

函館および道南地域における美術文化センターとして1986年9月に開館。「道南の美術」「東洋美術と書」「文字記号に関わる現代美術」を中心とする近代以降のすぐれた作品を収集する。



道立帯広美術館

平成3年9月に開館。道東ゆかりの代表的な作家の作品、近現代の版画やポスターなどのプリントアート、バルビゾン派の作品などを収集。



道立釧路芸術館

美術分野に加え、音楽などさらに広い分野を対象として多様な芸術表現の紹介、教育普及。釧路地域の芸術文化の振興発展に資する役割を担うことを目指している。

1、北海道の公立＝道立M

（札幌）近代M （学芸員養成＝結果的）

旭川
帯広
旭川

美術館

道の長期計画による
美術館構想

釧路 芸術館

2、日本の地方美術館

■地方美術館＝公立美術館＜昭和50年代＞

道立・県立・市立 文化活動

1、文化会館 ← 公民館

2、博物館

3、美術館

下水道

■行政のハコモノ好き

3、展示内容（2種類）

① 常設展示（コレクション展）
その美術館の所有作品

② 企画展示（特別展）

他の美術館から借用

大都市のMは独自企画可能
一級作品もある

注意：貸館は、新聞社などM以外が企画実施
企画のタライ廻し
すぐれた作品を、長期に貸し出す？

4、名品展→二流展？

超有名作家 秀作・凡作 名画 幻の

並の作家の凡作 並の作品 名品

無名作家の作品 駄作 数・色合わせ

「名品展」を観に行っただけで？
もともと なんだから
仕方ない ← 正直言ったら客がこない